

感染症・ウイルス検査

No. 1 No. 35



梅毒血清反応

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3502	RPR(定性) (STS定性) 5E074-1351-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	15 免疫	LA	(-)	髄液では検査不可	【陽性】 梅毒の感染 (急性期、持続感染、既往感染) *STS陽性、TP抗原陰性のときは、 生物学的偽陽性とする。 *生物学的偽陽性が認められる疾患等 ライム病、レプトスピラ病、回帰熱、 ハンセン病、結核、 肺炎球菌性肺炎、心内膜炎、 マラリア、マイコプラズマ肺炎、 伝染性単核症、肝炎、輸血、 リウマチ性心疾患、妊娠、高齢者、 ワクチン接種、レアギン、 自己免疫性疾患、 ウイルス感染症、 グロブリン製剤投与時など
3504	TP抗体定性 5E075-1351-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	32 免疫	LA	(-)	髄液では検査不可	
3507	RPR(定量) (STS定量) 5E074-1352-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	34 免疫	LA	1.0未満 R.U.	髄液では検査不可	
3509	TP抗体定量 5E075-1352-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~2	53 免疫	LA	10未満 T.U.	髄液では検査不可	
3505	FTA-ABS(定性) 5E079-1351-023-161	血清 0.3	1	冷蔵	3~6	138 免疫	FA	陰性(-)		
3796	FTA-ABS IgM(定性) 5E080-1351-023-161	血清 0.3	1	冷蔵	4~5		FA	陰性(-)		【陽性】 不顕性梅毒 梅毒の初期感染 先天性梅毒 *FTA-ABS-IgMが最も早く (約2~3週間で陽性)、 その後STSやFTA-ABSになり、 少し遅れてTPHAが陽性となる。
3510	FTA-ABS (半定量) 5E079-1352-023-162 5E079-1352-041-162	血清 0.3	1	冷蔵	3~6	138 免疫	FA	20未満 倍		
7255		髄液 0.5	3 5					1未満 倍		
3885	FTA-ABS IgM(半定量) 5E080-1352-023-162	血清 0.3	1	冷蔵	4~7		FA	20未満 倍		

※梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量は、従来の梅毒沈降反応(RPR法等)をいい、梅毒血清反応(STS)定性、梅毒血清反応(STS)半定量ごとに梅毒沈降反応を併せて2種類以上ずつ行った場合でも、それぞれ主たるもののみ算定する。

梅毒検査の結果解釈

STS	TP抗体	結果解釈
(-)	(-)	未感染(非梅毒) 稀に感染初期
(+)	(-)	感染初期 生物学的偽陽性(BFP)
(+)	(+)	梅毒(非治癒) 治癒後(抗体保有者)
(-)	(+)	治癒後(抗体保有者) TP抗原法(反応系)での偽陽性